**参考７**

第四期自治基本条例推進委員会の有志による

 第四回　Zoom de まちづくり



開催日：令和５年９月２６日（火）

開催時間：１９時～２０時１０分

参加者：９名（発題者１名＋委員６名＋事務局２名）

～テーマ　戸田市の公共施設の現状と今後について～

【開催の趣旨】

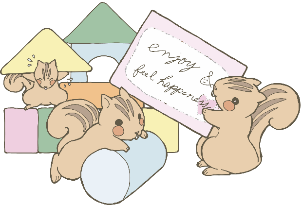
１．取り組みを知る

２．課題を共有する

発題者：戸田市文化スポーツ財団　長谷川 様（発題者）

委員：横山・岩本・松下・芳賀・木本・長尾≪敬称略≫

事務局：江口・秋山

３．解決の道を探る

【流れ】

１．発起人の横山委員長より、開催の趣旨、注意事項について説明

２．発題者（今回は、長谷川様）より、戸田市の公共施設のうちの３施設の現状や課題について説明

３．参加者から発題者へ質疑応答

さくらパルの認知度、利用率アップを目指しています！

飲食可能（アルコール可）、駄菓子販売、音楽室もあります！

是非

【発題者の説明の要旨】　👦🏢

長谷川様より、公益財団法人戸田市文化スポーツ財団の概要と、運営している施設について、ご説明いただく。

●戸田市文化スポーツ財団の概要→１９８０年４月に戸田市の文化体育振興を目的として設立。

戸田市スポーツセンター、戸田市文化会館、新曽南多世代交流館（さくらパル）を

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　指定管理者として運営している。

●指定管理制度とは→２００３年６月に地方自治法の改正により「指定管理者制度」創設。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　公の施設を民間事業者（株式会社など）も運営可能とし、民間事業者のノウハウや特性を生かし、

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住民サービスの向上、管理経費の削減、などの効果を目的とする。

●運営している３施設の紹介→現在戸田市は２０施設が指定管理制度を導入し、そのうち３施設を運営している。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　戸田市スポーツセンターはスポーツ振興を、戸田市文化会館は文化・芸術の振興、新曽南多世代交流館（さくらパル）は多世代の地域交流を、といったそれぞれ違う目的がある。

●貸室の現状と課題→さくらパルの２０２２年度の利用人数は、４０，９２０人、利用率は４２．１％である。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年間利用人数を４５，０００人、利用率は４５％を目標として掲げ、事業展開をしている。

●今後の展望→３５年前の戸田市の風景（北戸田駅周辺の様子）を見比べるだけでも、様変わりしている。

　　　　　　　　　　　　　　戸田市の人口は７万→１４万人に倍増したが、平均年齢は県内１位とはいえ３２．６歳→４２歳に上がり、

１世帯あたりの人員は２．９人→２.０人、町会加入率は９３％→５１.4％である。（人・まち・情報網の変化）

施設運営もこのような変化に合わせていく必要があり、施設の特性を生かしつつ利用者ニーズを反映させ、

更にまちづくりを進める一員として地域課題の解決に共に取り組む姿勢も大切であると考える。

【発題者への質問・意見・提案など】

●さくらパルの特徴について→飲食可という点は生かすべき。掃除やモラルの問題もあるが、利用者ニーズはあると思う。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 例えば業者と提携して料理と貸室のセットプランを作るなど、多様な使い方を考えてはどうか。

●戸田市の変化について→北戸田駅周辺の風景の変化はとても驚いた。今後の開発も期待したい。

●公共施設の利用について→スポーツセンターを利用している市民はとても多い。さくらパルの利用率ももっと上がるとよい。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　さくらパルはさくらの季節は見事な桜が見られ、音楽室は学生バンドなどの需要も多いだろう。

人が集うおしゃべりサロンやワークショップ、大人の体験教室などの開催はどうか。

　　●貸室の時間や予約について→利用時間は条例で、予約はシステム対応となり、指定管理者の裁量では決められない。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　とはいえ、ニーズがあることは確かなので、市と予算なども踏まえて検討するものである。